

TPP(環太平洋連携協定) 協議参加へ

国内の影響を鑑みた慎重な対応を望む

生産者通信

NPO法人
米ニケーションセンター
定価 100円(送料込)

環太平洋連携協定(TPP)交渉参加問題がにわかには喫緊の政治課題として浮上してきました。私自身は、今年の対外的政治課題は「TPP」と「沖縄普天間基地問題」であろうと予想していましたが、3.11東日本大震災でTPPの対応は先送りされてしまおうだろうと思っていました。

しかし、11月12、13日にハワイで開催されるアジア太平洋経済協力会議(APEC)でTPPへの参加方針を表明する意向を固めた野田総理の意向で議論に火をつけられた感があります。政府与党の民主党の中でさえその賛否は分かれ、与野党ともに議論は真つ二つに割れている状況です。いわんや国民的な議論

を保证する情報の公開や、時間的余裕はまったく置き去りにされてしまっているといっても過言ではないでしょう。そうした中で、農業者とりわけコメ問題と自動車などの輸出産業が取り立てて対立的に扱われていくことに違和感を覚えます。国内のすべての分野に影響が及び、今後の国のあり方そのものが大きく変わるはずだと思えますが、項目だけが並べ立てられていくだけで満足な議論がなされていない気がします。

「最後は私が政治的判断をおこなう」という野田総理の発言がすべてを語っているのでしょうか。野田総理としては、APECの場でオバマ大統領領へのお土産が必要なのだと言ったら偏見でしょうか。

ところで、柏崎には「柏崎・夢の国」があります。東京電力が柏崎刈羽原子力発電所の全号機完成記念として造



成し、柏崎市に贈呈したものです。総面積30畝の園内は杉や松そして様々な広葉樹の雑木が生え茂る里山に遊歩道が整備され、ギョウウオやクロサンショウウオなどの生き物が生息しています。園地の中央には遊水池があり、年中水鳥が観られ、カキツバタの開花時期は見応えがあります。

また、50㍎程の農地もあって、水田にはコシヒカリやコガネモチが畑には様々な野菜類が作付けされています。すべて無農薬・無化学肥料の有機栽培です。作業は近隣町内会の皆さんのボランティアでおこなわれています。

その一部、4㍎の水田とわずかな面積の畑で年間会員制の「自然農」の講座が月1回開設されています。公園の職員で専任の担当者はいないので、私も公園開設当初からボランティアとして自然農の講座を手伝っています。結構関心があるらしく、毎年30名の定員はすぐいっぱいになるようです。昨年度は半分以上の受講者が子供連れ、の若いお母さん達で、保育園状態でした。昼食は公園で収穫された米と野菜を使って当番制でつくりまします。手作りのピザ窯で焼いた米粉ピザなどのメニューもあって、昼食も毎回の楽しみです。味噌も公園の自家製です。

今年の自然農の水田4㍎の収量は130kg程、多いか少ないかの評価は色々あるでしょうが、整地をおこなって田の均平を確保できれば3割位は増収できるでしょう。

最近好評なのは、こ



柏崎・夢の森公園

〒945-1355
新潟県柏崎市大字軽井川
4544番地1

TEL : 0257-23-5214
FAX : 0257-23-5113
<http://www.yumenomori-park.jp/>

作柄表示地帯別作況指数
(10月15日現在)

れも講座の一環として作られた手作りの「足湯」です。土・日だけではなく、薪ボイラーで加温されたお湯に浸かって楽しんでいられる親子連れが見られます。

毎年9万人の入園者があるといわれていますが、機会があつたらぜひお出かけ下さい。

《内山常蔵記》